

競 技 注 意 事 項

- 1 競技は 2022 年度日本陸上競技連盟競技規則による。
- 2 点呼はプログラムに示された招集完了時刻までに競技者係のチェックを受け、招集完了時刻に本人が招集所にいなければならない。
- 3 選手はその競技をするほか、トラック・フィールド内に立ち入ることはできない。
- 4 (1) 他の種目と兼ねて出場する者は、その場の審判員に申し出て競技の進行に支障のないようにする。
また、競技者係に 2 種目同時出場申請書を提出すること。
(2) 点呼に遅れた者は棄権したものとして処理する。
(3) アスリートビブスは胸背両部に確実に縫いつけ、端を折ってはならない。ただし、跳躍競技については胸・背のいずれかでよい。(トラック競技については腰ナンバーを使用する)
- 5 トラック競技で棄権者がある場合はそのレーンをあけておく。
- 6 トラック競技の予選のレーン順及びフィールド競技の試技順は、プログラム記載の通りとする。決勝のトラック競技のレーン順は、本部(番組編成員)で公平に抽選決定し、競技者招集所に掲示する。なおプラス進出者は全競技者より選び、その規定数より多く着差がない場合、その同タイム着差なしの競技者本人により抽選する。
- 7 ポール以外の用具は競技場備え付けのものを使用する。練習用としても用具を場内に持ち込んではいならない。但し、ヤリは検定の上使用してもよい。検定は用器具庫で競技開始 1 時間前に行う。
- 8 跳躍競技のバーの上げ方(天候その他の事由により変更することもある。)

男子走高跳	135 (練習)	140	145	150	155・・180	以後 3 c m
女子走高跳	110 (練習)	115	120	125	130・・150	以後 3 c m
男子棒高跳	270 (練習)	280	300	320	340	以後 1 0 c m
女子棒高跳	160 (練習)	170	180	190	200	以後 1 0 c m

同成績の場合における 1 位決定のためのバーの上げ下げは以下の通り。

走高跳(男女)	2 c m	棒高跳(男女)	5 c m
---------	-------	---------	-------
- 9 三段跳の踏切板は男子 8 m と 1 1 m、女子 7 m と 1 0 m 地点(並行)に設置する。
- 10 決勝競技が終了後表彰式を行うので、アナウンスにより直ちに集合のこと。
- 11 リレー競技のオーダーの提出は、招集完了時刻の 1 時間前までに競技者係に提出すること。(用紙は競技者係から受け取る)
- 12 セパレート競技においては、決勝線通過後自分のレーン(曲線)に沿って走り、他の走者の妨害をしないようにする。
- 13 1,600m リレーの第 2 走者の第 2 コーナー(その位置は緑色の線とブレイクラインマーカーをもって示す)まではセパレートとし、以後はオープンとなる。
- 14 スパイクピンは 11 本まで、長さは 9 mm 以下とする。
- 15 ビデオ装置、カセットレコーダー、ラジオ、CD、トランシーバーや携帯電話などは競技場内に持ち込まないこと。
- 16 助力については、競技場内での助力は一切禁止とする。今回はコーチングエリアを設置しないため助言については該当種目の競技役員に指示に従い競技運営や他の競技者の競技の妨げにならない範囲で認める。また映像機器は競技役員に確認し競技者に見せることはできるが、手渡ししてはいけない。
- 17 靴底についてはレース終了後、規定外でのシューズ使用が確認された場合、失格となることがある。